

障害者のがん検診受診状況の調査法に関する研究への ご協力のお願い

研究課題名：行政機関の保有するデータを利用した、障害のある方の住民がん検
診受診率モニタリングの検討

2025 年 2 月 13 日 ver.1.0

目次

1. この説明文書について	2
2. 参加の自由について	2
3. この研究の目的と意義	2
4. この研究の対象となる方	3
5. この研究の方法	3
6. この研究に参加することにより期待される利益と不利益	3
7. 研究の実施予定期間	4
8. 研究参加に伴う費用	4
9. 研究により得られた結果の取扱い	4
10. 個人情報の取り扱い	4
11. 情報（データ）の取り扱い	4
12. 結果の公表	4
13. この研究の資金と利益相反	5
14. この研究の倫理審査	5
15. さらに詳しい情報	5
16. 同意の撤回方法	5
17. 研究組織	5
18. 連絡先（相談窓口）	6

1. この説明文書について

がんの早期発見にはがん検診の受診が重要ですが、障害者のがん検診受診率が低いことが示されており、この格差是正は世界的な課題です。我々の研究グループは、わが国でも精神障害者にがん検診受診率の格差が生じていることを明らかにしました。そこで、我々は、特に受診率が低いことがわかっている統合失調症患者に対するがん検診勧奨法を開発し、現在は日常臨床へ実装・普及するための研究を行っています。

上述のような、障害者のがん検診受診格差の解消に向けた取組を進めることが必要であり、知的障害者や身体障害者における知見も求められています。しかし、わが国は障害者と障害のない人とのがん検診受診率が比較可能な公的統計データが無く、そもそも障害者集団のがん検診受診率の動向を明らかにする統計すら無いのが現状です。科学的根拠に基づいた施策を進めるためには、地域単位で障害者のがん検診受診率の動向を明らかにする調査方法を確立する必要があります。

そこで我々は、市町村が保有する障害福祉データとがん検診データを利活用した精神障害者のがん検診受診率の動向調査法の検討を進めています。本研究では、市町村が保有している自立支援医療（精神）台帳、3手帳（精神、知的、身体）の交付台帳、およびがん検診台帳のデータベース化の現状を明らかにすることを第一の目的としています。加えて、自立支援医療（精神）を受給している住民のがん検診（住民がん検診）受診者数の集計データ作成を依頼して、動向調査法の実施可能性を検討します。

説明文書をお読み頂き、研究にご協力賜りますようお願いいたします。不明な点がございましたら、担当者にお問い合わせ下さい。

2. 参加の自由について

この研究に参加するかどうかは、貴市町村のお考えでお決めください。この研究に参加しない場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

この研究についてご理解頂き、参加いただける場合は、調査票へ回答し、返信用封筒でご返送ください。調査票への回答をもって、参加の同意を得たものとします。

3. この研究の目的と意義

わが国には、障害者のがん検診受診率に関する行政の統計データがありません。障害者（特に精神障害と知的障害）の多くは、市町村が提供する住民がん検診が主たるがん検診の受診機会です。そのため、障害福祉データと、市のがん検診受診データを利活用して、障害者のがん検診受診率の動向を調査する方略は妥当であると考えられます。地域単位での動向調査法が確立すれば、公的な意義は大きいもの

と考えます。また、障害者権利条約第 31 条において、障害関連の施策を立案・実施するために障害者統計の充実が求められており、本研究はその趣旨にも沿った取組といえます。障害者のがん検診受診格差の是正は、障害保健福祉・がん医療にまたがる重要な課題です。

4. この研究の対象となる市町村

関西地方、中国地方、四国地方の市町村に対して研究協力をお願いします。

なお、先行して実施した予備調査へのご参加状況に基づいて、回答を依頼する調査票が以下のように異なっております。

■島根県・岡山県以外の市町村

■令和 6 年度の予備調査に未回答の島根県・岡山県の市町村

⇒調査票（ステップ 1）と調査票（ステップ 2）への回答をお願いします

■令和 6 年度の予備調査に回答済の島根県・岡山県の市町村

■先行研究に協力いただいている岡山市

⇒調査票（タイプ B）への回答をお願いします

5. この研究の方法

本研究では、各市町村の障害福祉担当課を窓口として、調査票への回答を依頼します。

ステップ 1 の調査票では、自立支援医療（精神）台帳、3 手帳の交付台帳、およびがん検診台帳のデータベース化の現状についてお尋ねします。タイプ B の調査票は、ステップ 1 の調査票からがん検診台帳に関する質問を省略した内容となっています。

ステップ 2 の調査票では、自立支援医療（精神）台帳とがん検診台帳のデータベースを突合して、精神障害別のがん検診受診者数の集計データの作成・提供が可能かどうか検討いただきます。集計・提供が困難である場合には、その理由を回答お願いいたします。集計データを作成する具体的手順、データ提供していただく流れ、ステップ 2 の調査票に記載していますので、そちらをご確認ください。

回答いただいた結果については、厚生労働科学研究成果報告書等において集計した形で報告させていただきます。報告に際しては、どの市町村からの回答であるかわからないようにします。

6. この研究に参加することにより期待される利益と不利益

本研究に参加頂くことで期待される利益または不利益はありません。

7. 研究の実施予定期間

この研究は 2025 年 3 月（研究許可後）より 2027 年 3 月まで行う予定です。調査票への回答締め切りは、2025 年 9 月に設定予定です。

8. 研究参加に伴う費用

本研究に参加することに対する謝礼等の支払いはありません。

9. 研究により得られた結果の取扱い

得られた結果については、どの市町村からの回答であるか分からないようにします。自由記述の内容もそのまま公表するのではなく、集約した形とします。研究によって得られた結果を各市町村にお知らせすることはありませんのでご了承ください。

10. 個人情報の取り扱い

問い合わせ窓口として担当者の氏名、役職、メールアドレスの記載をお願いしますが、それ以外の個人情報はこの研究では収集しません。担当者の情報については、調査票への回答内容への問い合わせ等、本研究で連絡が必要な時に利用するのみで、それ以外の目的では使用しません。また担当者の情報は公表しません。

11. 情報（データ）の取り扱い

この研究のデータおよび関連する資料は、島根大学の研究責任者および岡山大学の研究責任者が保管します。回答された調査票は、岡山大学病院精神科神経科の医局において適切に管理し、外部への持ち出しは行いません。島根大学と岡山大学とで研究データをやりとりする際には、個人情報（問い合わせ窓口の担当者の情報）を削除して行います。また、研究全体に関するデータや資料は研究全体を統括する研究代表者が保管します。いずれも代表研究機関（島根大学）においては、研究結果の最終報告を行ってから 10 年間、その他の研究機関においては、研究の終了を報告してから少なくとも 5 年間保管し、その後、保管不要となった時点で識別が不可能な状態で廃棄（消去）します。

12. 結果の公表

本研究結果は、厚生労働科学研究の成果報告書で公表します。学会発表及び医学誌での公表も予定します。

13. この研究の資金と利益相反

本研究は厚生労働科学研究補助金（がん対策推進総合研究事業）「精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティの向上に資する研究（23EA1031）」（研究代表者：稲垣正俊）の研究費で行います。この他に特定の団体からの資金提供等は受けていませんので、研究組織全体に関して起こりうる利益相反はありません。本研究に関与する研究者の利益相反は所属研究機関内の規程に従い管理します。

14. この研究の倫理審査

この研究を実施するにあたって、人権や安全への配慮、医学の発展に役立つかどうかについて、島根大学医学部医学研究倫理委員会で検討した結果、承認され、研究にかかわる各機関の長の許可を受けています。

15. さらに詳しい情報

この研究についてさらにくわしく知りたい場合は、研究担当者にお尋ねください。研究計画書などの資料を閲覧することも可能です。

16. 同意の撤回方法

研究の参加に同意（調査票へ回答）した後でも、研究への参加をとりやめることができます。その場合も、貴市町村が不利益をこうむることはありません。同意を撤回される場合は、研究事務局へメールあるいは電話でご連絡ください。なお、研究結果がまとまって解析や結果発表を終えた後で同意撤回のお申し出があった場合は、貴市町村のデータを取り除くことはできませんので、あらかじめご了承ください。

17. 研究組織

この研究を行う研究者、研究機関は次のとおりです。

研究代表者（総括責任者）

稲垣 正俊

島根大学医学部精神医学講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2262

E-mail: minagaki@med.shimane-u.ac.jp

共同研究機関

〔研究機関〕

岡山大学病院精神科神経科

島根大学

〔研究責任者〕

藤原雅樹

稲垣正俊

研究分担者

〔所属〕

島根大学医学部精神医学講座

〔氏名〕

大拙孝治

18. 連絡先（相談窓口）

この研究について不明な点がありましたら、いつでも遠慮なく研究事務局または研究代表者にご連絡ください。研究終了後の結果についてお知りになりたい場合もお尋ねください。

研究事務局：岡山大学病院精神科神経科 助教 藤原 雅樹

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

TEL: 086-235-7242

E-mail: mfujiwara@okayama-u.ac.jp

研究代表者：島根大学医学部精神医学講座 教授 稲垣 正俊

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2262（精神科医局）

E-mail: minagaki@med.shimane-u.ac.jp